

平成25年度 決算審査

9月定例会において、平成25年度の一般会計の決算を認定したほか、国民健康保険事業やモーターボート競走事業など10件の特別会計、企業会計の決算を認定しました。



01 一般会計

歳入決算額 402億 601万3,491円
歳出決算額 382億7,376万8,437円

前年度と比べ、歳入は2.0%、歳出は0.9%の増となっています。歳入においては、家屋の新增築による固定資産税の増や滞納繰越分に対する徴収強化による収入の増により、市税が増加しています。歳出においては、財政調整基金等への積み立てが増加したことにより総務費が増加しています。また、本町アパート・市民交流プラザ整備事業により土木費が増加しています。

◇一般会計の決算審査における主な意見

- 生活…（市民環境部）畜犬登録事業については、予算を増額してでも早急に全頭登録に向けて努力すること。
- 都市整備…（都市整備部）竹松駅前原口線整備事業については、地権者との交渉や予算等の関係はあると思うがスピードを上げて事業を進めるよう努力すること。

02 国民健康保険事業特別会計

歳入決算額 94億2,589万8,217円
歳出決算額 93億 836万1,379円

収納率が上昇するも運営は厳しい状況が続く

平成25年度国保税の収入額は、約19億9,700万円となり、前年度比で約1億4,900万円の増、収納率は6.22ポイント上昇しました。これは、国保税滞納世帯に対する徹底した財産調査などにより、滞納繰越分の収入額が大幅に増加したことによるものです。

しかし、事業の運営は、長引く経済の低迷による低所得世帯の増加や医療の高度化などに伴う医療費の増加などにより、依然として厳しい状況が続いています。

03 後期高齢者医療事業特別会計

歳入決算額 8億4,330万7,479円
歳出決算額 8億4,238万2,679円

収納率が上昇するも1人当たりの医療費は増加

平成25年度の保険料の収入額は、約6億2,800万円となり、前年度比で約2,000万円増え、年金支給時に合わせた電話催告や文書催促及び訪問指導等により、収納率が0.2ポイント上昇し98.8%となりました。

1人当たりの医療費は約102万8,000円となり、前年度比で約1万3,000円増加しました。